

1 派遣期日 平成27年10月15日(木)

2 研修先 千葉県習志野市立津田沼小学校
千葉県習志野市津田沼4丁目5-2
<http://www.nkc.city.narashino.chiba.jp/tusyo/>

3 研修内容

昭和30年から「体育を中核とした人間形成」を教育の柱として始めた研究の、60年目の節目となる公開研究会を参観させて頂いた。研究主題は「丈夫な体・強い心・支え合う仲間～運動技能の習得をうながす言語活動の充実」である。

技能教科における言語活動の充実がどのように技能の習得に結びつくのか、また、その実現に向けてどのような指導を行っていけば良いかを出来るだけ具体的に学びたいと考え、本研究会を選んだ。(研究会は公開授業、全体会、シンポジウム、講演、分科会とあったが、公開授業の参観のみ参加させて頂いた。)

4 感想

- ・ノートを使った振り返りの積み重ねが見られた。授業の終わりに書く時間が設けられ、学年によっては発表まで行っていた。その日の個人のめあてや教師からの個別のアドバイスも目を引いたが、「〇〇と言ってもらってうまくいった」「〇〇したらできるようになった」といった、技能の習得につながるような児童の振り返りが書かれていたことに驚かされた。
- ・個人目標は選択式となっていた。運動が得意な児童はさらにそれを伸ばそうと、苦手な児童も自分のレベルに合うめあてを達成しようと、頑張ることができるようになっていた。めあてに幅をもたせることで得意な児童も苦手な児童も意欲的に運動に取り組める工夫が素晴らしいと感じた。
- ・言語活動を促す教師の言葉かけが参考になった。動きのポイントについて一方的に説明するのではなく、教師または児童による手本を見せ、「何が良い？」と児童に問いかけていた。近くの児童と短い時間で相談させている学年もあった。言葉かけで言えば、良い動きをほめる言葉だけに留まらず、良いアドバイスやリーダーとしてグループ内の話し合いを進めている姿に注目してほめていることも印象的であった。助言や話し合いといった言語活動は良いことなのだということを児童に実感させる上で、とても大切なポイントであると思わされた。
- ・技能教科における言語活動の充実を図る上で課題となるのが時間配分である。公開授業では話す、書く活動がたくさん盛り込まれていたが、集合や移動がとても素早いことや、メニュー化、パターン化された運動が豊富にあることにより少ない指示で体を動かすことができるなど、時間を生み出す工夫がたくさん見られた。「1分で」「30秒で」などの指示により、授業がテンポ良く進んでいた。動くときには動く、静かにするときには静かにといったメリハリがあり、時間の節約というメリットだけでなく、学級経営にも生きる指導が体育を通してなされていた。
- ・体力づくりの運動では、全体で同じ動きをするだけでなく、グループに分かれてリーダーを中心に話し合いながら、運動を選択して取り組む場面が設定されていた。ただし、全てが選択ではなく、メニューの一部を選択とすることで、教師側のねらいをはずすことなく活動させられる工夫が良いと感じた。
- ・教師も児童といっしょになって、楽しんで運動する姿が印象に残った。外国語活動でもよく言われることだが、教師が良いモデルとなることが重要であることを再確認することができた。今後の指導の中で意識していきたい。

- ・ 立て看板のような形の移動式のボードがあり、動きのポイントや写真での図解が掲示されていた。学年によっては個人のめあてが貼ってあり、友達がどんなめあてをもって頑張ろうとしているかが把握できるようになっていた。この工夫が、ペア学習やグループ学習に活かされている姿も見られた。
- ・ 台上前転で言えば、「トーン、ポーン、スッ、クルン」などの言葉を用い、短い言葉で分かりやすくポイントを児童に伝えていた。この工夫は移動式のボードでも見られ、児童同士のアドバイスの中でも使われていた。
- ・ 低学年の段階から、友達の動きを見てアドバイスができるように指導されており、学び合いや言語活動が当たり前となっていることに驚かされた。また、友達の動きを見て良さや課題を見つけようとする活動を通して、自然な形で動きのポイントに注目できるようになっている点も素晴らしい工夫だと思う。さらに、ペアやグループで互いにアドバイスをし合って取り組む時間を増やすことで、教師が運動の苦手な児童への個別支援にエネルギーと時間を使うことができるメリットもあると感じた。加えて、運動している姿を見てくれる友達がいることで、繰り返して同じ運動もする場面でも、めあてを意識して取り組みやすくなっていると感じた。
- ・ たくさんの具体的な指導の工夫を学ぶことができ、とても感謝している。学んだことを今後の学習指導で生かすこと、校内で共有することが参観させて頂いた学校へのお礼になると思うので、しっかり行っていきたい。

